

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 3月 29日

事業所名:おれんじキッズ&児童デイサービス・アニマートちゃたん2号店

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6名	0名	訓練室、相談室、事務室に空間を仕切り、活動に併せてパーテーションを活用	一軒家の為、部屋数が増えた事で死角が多い為、職員が目が行き届く様に配置しています。
	2	職員の配置数は適切である	6名	0名	定員内かつ適切な職員配置を行っております。	今後、より専門性を高め密度の濃い療育を行う為にも、職員確保を継続的に行っていく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6名	0名	対象の利用児の状況に応じ適宜設備している。	事業所が道路に面している為、飛び出し防止の扉を付けています。事業所内はフロアに2色のクッションマットを敷き、活動場所を分けています。一日のスケジュールをボードに貼り付けて構造化を取り入れてます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	6名	0名	毎日清掃、除菌、消毒を行っています。利用児童の成長や状況に応じて備品の配置等も変えています。	都度の活動に適した空間を作るよう努めています。また、職員会議にて事業所内の環境整備を検討・実施しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6名	0名	朝礼・終礼を毎日行い、支援計画に則りPDCAサイクルを行っています。	日常的な朝礼・終礼に加え、週次もしくは月次にて業務改善に向けて会議の場を設ける予定です。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	6名	0名	保護者からのご意見はLINEや口頭で把握し職員間で周知を行っています。	今後、ご意見を受けて改善を行った際、保護者へ口頭やLINE・会報等を通じてレスポンスを行う予定です。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	6名	0名	集計結果を職員間で共有し事業所の質向上に向けた会議・検討を実施しています。	自己評価及び保護者向け評価表の結果はアニマートのHPにて公開しています。保護者および職員からの意見をもとに事業所内で改善取り組みを行ってまいります。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1名	5名	現在、第三者による外部評価を行っておりません。	現在、第三者による外部評価を行っておりませんが他事業所の管理者から評価を受けながら取り組んでいます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6名	0名	職員の専門性を高める為にも研修等へ積極的に参加しております。	研修後は他の職員への情報共有や日常的な支援に還元しております。今後もあらゆる研修に参加し職員の資質向上を図ります。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	6名	0名	児童および保護者との面談・見学を行いアセスメントし課題の認識・サービス計画を行っています。	アセスメントによる情報を元に課題等を職員間で検討しサービス計画の作成を行っております。より多くの情報を得て適切な計画作成を目指すよう努めてまいります。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6名	0名	当事業所において児童の行動や状況、来歴が認識できる様なアセスメント様式を使用しております。	年1回の再アセスメントを行い状況把握を行っています。常時得られた情報を元に職員共有を図ってまいります。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6名	0名	当事業所において児童の行動や状況、来歴が認識できる様なアセスメント様式を使用しております。	利用児童の状況を把握しながら活動や療育面の強化の為のプログラムを日々、検討しながら他事業所などの情報も多く取り入れて良いものはアレンジして取り組んでいく。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	6名	0名	適切に対応している。	成長と共に日々変化がある中で計画書に沿って支援をしていますが、個々の関わり方は時間をかけて支援をするようにしている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	6名	0名	行っています。	1人の職員で行わず、あらゆる意見を取り入れ活動プログラムの作成を行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6名	0名	行っています。	月々の行事や季節を大切に、児童がより楽しめる活動を組んでいます。今後は地域交流を深められる活動を組み込む予定です。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	6名	0名	個別支援計画書に個々の状態を繰り返して全体活動と個別支援を実施している。	アセスメントを主に、個人活動と集団活動のバランスを図りながら個々にあった放課後等デイサービス計画書を作成している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	6名	0名	朝礼にて保護者からのLINEや児童状況を職員間で共有し支援準備を行っています。	より個々の児童に焦点を合わせ、専門的な支援が出来る様、十分な準備を務めていきます。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6名	0名	終礼時に実施しています。	終礼にて、その日利用した児童の行動や課題に対する様子を職員間で共有しています。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6名	0名	実施しています。	その日利用した児童の様子や行動を支援記録として毎日詳細を記録しています。記録を元に今後の支援方針の検討も行っています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6名	0名	児童発達支援管理責任者が定期的に行っている。	関係機関(保護者・相談員・役所・事業所)で6か月ごとにモニタリングを行い現在の支援内容が適切であるを見極めたうえで計画書の見直しの必要性を判断しながら取り組む。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6名	0名	児童発達支援管理責任者が毎回、参加している。	会議には、児童発達支援管理責任者が基本で参加していますが、その都度の判断で現場の職員も同席させて状況報告させています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	2名	4名	保護者を介して行っている。	今後は関係機関との連携を強化したい。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	6名	0名	現在、対象の利用児なし。	現在、対象の利用児はありませんが、必要に応じて連絡体制の整備を図ります。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1名	5名	現在、対象の利用児なし。	保護者を通じて医療機関と連携中。必要に応じて主治医との連絡体制の整備を図ります。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6名	0名	保育所、幼稚園、認定こども園等の関係機関より情報共有を行っています。	各関係機関との関係構築を行っており、モニタリング会議や電話、訪問等を行い児童の情報共有を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	6名	0名	小学校、特別支援学校等の関係機関より情報共有を行っています。	各関係機関との関係構築を行っており、電話や訪問等を行い児童の情報共有を図っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6名	0名	こちらから機関へ電話を入れ情報収集しています。	地域自治会に加入しており、今後公民館を通して交流を予定しています。健常児と障害児の友達作りが難しいので交流は長く継続していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3名	3名	今後交流予定です。	地域自治会に加入しており、今後公民館を通して交流を予定しています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	3名	3名	役場から依頼があればその都度参加している。	役場や社協で開催される会議に積極的に参加している。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6名	0名	常に行っています。	LINEや電話、送迎時などを通して児童の状況や課題を随時伝えていきます。また、その日利用児の保護者へ活動の様子として写真や動画を送付しています。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	6名	0名	常に行っています。	LINEの写メや動画などで細かく支援の対案を提供させてもらっています。今後も継続して取り組んでいきます。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6名	0名	保護者と共通理解を図るためにも、時間を確保して説明しています。	契約時に丁寧に説明するとともに、事業所内に重要事項説明書を開示しています。支援内容には関しては日々の送迎の時に細かく家族へお伝えしています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	6名	0名	制度上の難しい支援内容は、時間をかけて家族様には、適切に対応している。	契約時に丁寧に説明するとともに、事業所内に重要事項説明書を開示しています。支援内容に関しては、細かく保護者と相談しながら計画を立てて同意を得ていますが、児童のさまざまな問題から支援内容が変化しますので、その都度の計画変更もあり得ます。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6名	0名	保護者とのLINE会話を常に支援を実施している。	保護者の小さな相談にも耳を傾け、少しでも悩みが解決できる体制を職員間で体制を整えています。その都度、家庭訪問しながら助言や支援をさせていただいています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5名	1名	開催予定です。	年始に開催予定でしたが、各学校で感染症が拡大した為、延期とし近日中に開催予定です。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6名	0名	適切に対応している。	LINEやメールを個人的に結んでいますので、苦情があれば体制を整えている状況です。頂いた相談や申し入れに関しては職員間でも共有し会議を持ち適切な判断で対応させていただいています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6名	0名	毎月会報を発行しています。	毎月、活動予定表やおたよりを発行し保護者へ発信しています。また、日常的にLINEを活用し写真や動画、状況を共有しています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	6名	0名	個人情報取り扱いについては厳重に行っています。	個人情報に記載された書類は、鍵付きキャビネットに保管しています。また、職員間の守秘義務を徹底しています。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6名	0名	行っています。	絵カードや手話を用いて意思疎通を図っています。また、自己決定を尊重するためにも、表情や仕草を見たり顔つき等を確認しています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2名	4名	予定しています。	現在、地域の老人デイサービスや婦人会等と交流会を予定しています。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5名	1名	公文やLINE、電話を活用し周知を行っています。	感染症対応や防犯対策、緊急時対応などを公文書の配布やLINE等の連絡ツールを用いて周知しています。また、事業所内にも掲示し児童・職員への周知も行っています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6名	0名	年2回津波避難訓練および火災避難訓練を実施。	海が近い事から、ハザードマップを事業所内に掲示し、常に避難場所を確認出来る様になっています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6名	0名	保護者と情報共有を行い、状況確認しています。	継続して保護者と連携を図り、服薬やてんかん発作の状況を把握し職員にて適切な対応を行うよう努めます。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6名	0名	対応しています。	保護者と連携し医療機関からの指示書や主治医の意見を確認し対応しております。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6名	0名	職員勉強会を実施し共有を行っています。	毎月、全国の事例を用いて職員間勉強会で共有を図っています。当事業所における危険性もシミュレーションし、安全確保に努めています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6名	0名	虐待防止委員会を編成し、2事業所合同で研修を年2回実施しています。	職員勉強会を開催し虐待防止を徹底しています。今後も継続して実施予定です。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	6名	0名	該当児はいませんが身体拘束の適正化の指針について年2回の研修を実施。	該当児なし。また、2事業所合同で身体拘束の禁止を職員へ徹底しており今後も継続して実施予定です。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。